

10月の「北海道セミナー」 テーマ「活力」です

「元気」を充電して下さい

前号でもお伝えしましたが、10月8日(火)に札幌コンベンションセンターにて、「日本遊技関連事業協会北海道支部」「札幌方面遊技事業協同組合」「札幌遊技業協同組合」「札幌遊技業支配人会」の4団体合同主催による「健全営業推進セミナー2013」が開催されます。

1の講師を今年も担当させていただきます。他にも、ボンベイ吉田

氏の講演と北海道警察本部保安課の行政講話などの各種セミナーだけでなく、パチンコ・パチスロ産業界によるブース展示会場が設けられて、新商品や新機種、新サービスの提案など様々なプレゼンが祭り会場のよう賑やかに実施されます。今年のテーマは「現場に活力を！みんなで一緒に元気になろう!!」です。興味のある方は、日本遊技関連事業協会北海道支部までお問い合わせの上、是非ご来場

いただき「元気」を充電していただく下さい!

また、その翌日の10月9日(水)には福島県遊技業協同組合連合会にてゴト犯罪対策セミナーの講演を担当させていただきます。昨年に引き続き本年もお声掛けいただき大変光栄に感じております。受講される方々にわかりやすくゴトの実態を知っていただき、自店舗のセキュリティアップに役立つ情報やアイデアを提供出来るように、この連載と同様にがんばります。

ゴトに勝つ

25

高石隆一

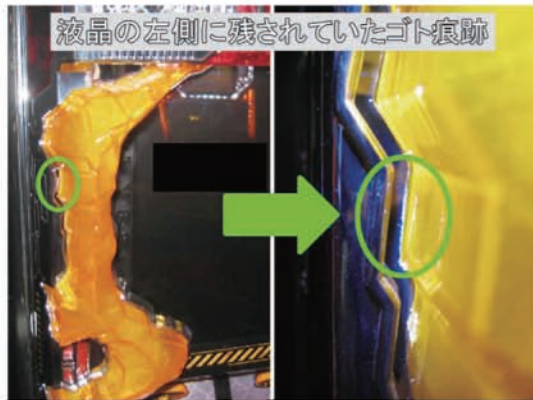
最近「波形電波」の手口が レア子役を「誤認識」させる

「創聖II」の電磁波ゴト ARTの直撃から 複数セットのストツク

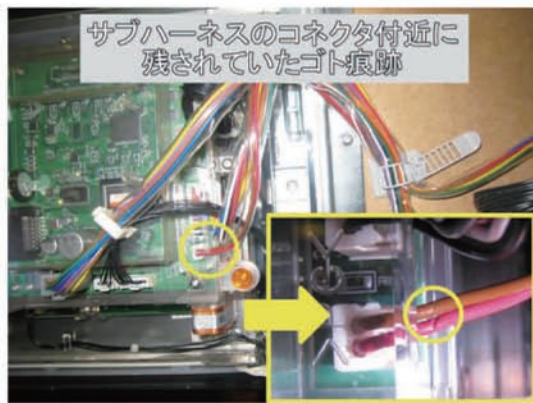
スロットART機を狙った電磁波ゴトに関するのですが、前号や前々号ではロデオ「モンスターハントーズ」などについてお伝えしましたが、7月下旬頃から全国的にSANKYO「パチスロ創聖のアクエリオンII」を狙った電磁波ゴトの被害が多発しておりますのでご注意ください。

ある店舗での被害状況によると、「パチスロ創聖のアクエリオンII」に設置していた電磁波センサーが2台同時に発報し、当該遊技機に着席していた2人は即座に逃走していった。店舗側はその2台の稼働を止めて、閉店後に該当台を試打したところ直ぐにARTに突入し、液晶上ではARTストツク有り表示が無いにも関わらず1時間以上もARTが継続し続けたとのことでした。

電磁波が遊技機に与える影響(ゴト効果)については、電磁波発信機を押収して検証した訳ではないので推測になってしまいます



液晶の左側に残されていたゴト痕跡



サブハーネスのコンネクタ付近に残されていたゴト痕跡



被害台のART消化画面

が、被害店舗での被害台試打の状況で「直ぐにARTに突入し1時間以上ARTが継続し続けた」などの情報から、電磁波の照射によってARTへの直撃、さらには複数セットのARTをストックさせているものと推測されます。

パチンコ機のように電磁波センサーの純正な標準装備を願う

ここ最近のART直撃及びストック直撃の電磁波ゴトの手口は、一部で波形電波と呼ばれてる手口のように、レア小役などの情報と同様の波形をした電磁波をメイン基板とサブ基板を繋ぐ配線（通信ライン）に送り込むことにより、

本来なら成立していないレア小役の成立情報をサブ基板に誤認識させて、その結果ART直撃若しくはARTを大量にストックさせるというもののようです。

電磁波照射時に筐体に手を近づける、電磁波発信機を仕込んだバッグを近づける等の挙動が出るケースもありますが、電磁波ゴトに使用される不正器具の性能の向上や小型化が進むことにより、不自然な挙動も見られなくなり、遊技機が特殊なエラー等を起こすケースも少なくなりつつあります。

スロットでも、パチンコ機のように電磁波センサーが純正で標準装備されることを強く願っておりますが、現状での店舗の対策としては電磁波ゴトの可能性のある遊

技機において、遊技機エラー発生時の情報共有、見慣れないお客様との異常なART連チャンや大量の出玉所持といった状況を発見した場合には、報告・連絡・相談のホウレンソウを徹底して、それを受けた役職者の方は防犯カメラの録画映像のチェックを実施するようお願いいたします。

「バイオハザード5」メーカーから対策部品大至急設置されたい

8月に入りメーカーからART誘発（継続）ゴトを防止するための対策部品が提供されているエンターライズ「バイオハザード5」ですが、既に対策部品は設置して変更届は提出済みですか？

対策部品の取付箇所は、サブ基板と主基板をつなぐハーネスのサブ基板側のコンネクタ部と主基板側のコンネクタ付近にある主基板ケーブルの隙間になります。この箇所を透明色の対策部品でカバーすること

により、サブ基板と主基板をつなぐハーネスの両端コンネクタ部分へのゴト器具侵入を防止することを目的としているのです。この対策部品は、メーカーからの無償提供となりますので、中古機であっても「バイオハザード5」を設置している店舗は大至急最寄りの販売店に連絡をし、対策部品の取付作業の日程等の打ち合わせを行ってください。

エラー解除で不審表示映像を放棄させる

対策部品の配布直前を狙ったなのか、7月末頃に札幌市内のホールにおいて、エンターライズ「バイオハザード5」を狙ったセルゴトが発生いたしました。

ゴトグループは4人組で、ホールスタッフが当該機種にて発生したコマンドエラーを電源の入り切りで解除した際に「+300」の表示となったことから不審に思い、役職者に報告をしました。それを受けて役職者が防犯カメラの録画映像を確認作業中に、ホールスタッフからさきほどコマンドエラー

が発生した台の残りARTゲーム数が2千ゲーム以上になっているとの連絡が入りました。

録画映像の確認の結果、ゴト実行役が着席直前に筐体左上部分にゴト器具を挿入している様子やホールスタッフがキャッチ役に両替機の間所を聞かれている状況、ゴト実行役の隣に着席した壁役が幕を作っている隙に実行役がセルを操作している様子が確認出来ました。

セル操作後30ゲーム前後で初当たりを引いた際にコマンドエラーが発生し、壁役と実行役の二人は一度退店してから約5分後に両人が戻ってきてホールスタッフにエラー解除をさせていた状況も録画映像に残されておりました。これらの状況からゴト被害と断

定して、警察に連絡して担当官に犯行映像を見もらったのですが、犯行後に一度退店している状況から証拠品を隠滅している可能性が高いとの判断で逮捕には至らずに、警察官立ち会いの元で不正な出玉の可能性があるので、調査した後の交換になることをゴト師に伝えたところ、ゴト師は出玉約4000枚を放棄し退店しました。

セルを配線に噛ませ 接続した器具から 不正信号を注入する

閉店後に被害台を調べたところ、筐体左上ランプカバー横とサブハーネス(主基板とサブ基板を繋ぐ配線)に傷が残っていたことから、筐体左上ランプカバー横から挿入

したセルをサブハーネスに噛ませて、セルに接続したゴト器具から不正信号(コマンド)を注入すること、ARTの誘発やARTゲーム数の上乗せをおこ

なう手口と推測されます。今回ははっきりとした傷が残されていませんが、傷等の痕跡が全く残されていないことから、ゴトに遭った場合に必ずしも傷が残るとは限りませんのでご注意ください。

ゴト被害に発生するコマンドエラーについては、そもそもコマンドエラーとは主基板からサブ基板に送信される情報(コマンド)に異常が見つかった場合に、外部に異常を報知するために発生するエラーのことです。「バイオハザード5」の場合、メーカーからの発表によるとセキュリティ機能を高めた結果、サブハーネスの僅かな接触不良等でもシステムエラー(E10〜E13)が発生する場合があります。このことですので、「コマンドエラー」の発生が直ちにゴトによるものと断定は出来ませんが、当該エラー発生時にはエラー報告と防犯カメラの録画映像のチェックを徹底し不用意にエラー解除を行わないようお願いいたします。

メーカー対策部品配布が広まっている現在、新たな手口での犯行若しくは「メーカー対策部品未設置のお店」を狙っての犯行が予想

されますので、低貸しでもバラエティーコーナーであっても早急に対策をお願いいたします。

人気機種「悲しき」 「ジャグラーAPEX」 新たにクレ満ゴト情報

7月末頃に東北地方で今までに被害報告が無かった機種でクレジット上げゴト(クレ満クン)の被害が発生したとの情報をいただきました。人気機種の悲しい性で、これまで様々な機種でクレジット上げゴトの被害に遭ってきたジャグラーシリーズですが、今回は「アイムジャグラーAPEX」での被害が確認されました。

犯行映像を確認したところ、ゴト師がゴト器具(クレ満クン)をリール回転中にメダル返却ボタンを押しながらメダル投入口にセットした後、右手に持ったメダルをメダル投入口に入れるフリをしてゴト器具のスイッチにメダルを押し当ててクレジットを上げて、その後15〜20ゲームをクレジット消化で遊技して、またメダルを投入口に入れるフリをしてクレジットを上げて、またクレジット消化で遊



クレ満クンを挿入している様子



過去に使用されたクレ満クン丸部分にメダルを接触させる

参考写真

技するということを繰り返していません。

不正器具押収できず 他シリーズへの影響は 不明だが十分注意を

ゴトグループは4人組で来店して、全員が実行役でもあり、同時にそれぞれが壁役や交換役の役割も担って犯行を行って、4人が複数回ずつ交換した結果、被害は合計15回の交換で約1万2000枚にもなっていました。犯行時に一度だけ「COエラー」が発生している状況が確認されており、これがゴト器具によるものなのかは不明ですが、エラー情報は貴重なゴト発見のきっかけになりますので、エラー情報を共有して警戒していただきたいものです。

今回の「アイムジャグラーAP EX」での被害を受けて、メダル投入口やメダルセレクタが類似構造の他のジャグラーシリーズでの被害が懸念されていますが、不正部品が押収できていないので、現時点では他機種での犯行が可能かどうかは不明です。いたずらに不

安を煽ることは良いことではありませんが、万が一を考えてクレジット上げゴト被害への警戒をお願いいたします。

「羽根物」を狙って 糸付き玉を停留させる 異常数値出たら対応

パチンコ本来の面白さ、原点復帰ということで設置が増えてきている羽根物ですが、アムテックス「トキオ・デラックス」などを狙った糸付き玉ゴトにご注意ください。ゴト発見経緯は当該機種を遊技していたお客様から「ゴトが行われている」との通報からでした。しかし、ゴト師はその通報に感づいて出玉約2000発を交換して退店してしまいました。通報してくれたお客様によると、羽根周辺に糸付き玉を停留させていたとのことでしたので、ゴト師は羽根周辺に糸付き玉を停留させることで役物内に玉を誘導していたものと思われる。ただ、データ上ではスタート（2チャッカー）が通常の2倍になっていったとの情報もあることから、糸付き玉を2チャッカー周辺に停留させていた可能性

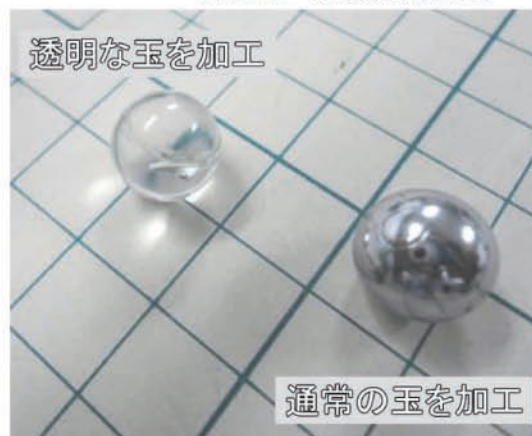
もありますし、羽根周辺に糸付き玉を停留させたことで、玉の道筋が変わり、2チャッカーに入りやすくなっていた可能性もあります。糸付き玉ゴトに関しては、「通常の玉を加工したもの」と「透明な玉を加工したもの」の2種類の事例がありますが、今回は「通常の玉を加工したもの」が使用されたようです。

このゴト手口の場合、スタートやベースなど様々なデータの異常数値が出るケースが確認されています。データ異常発生から盤面を確認する際に、透明な玉が使用された場合は、盤面から玉を発見するのは困難になりますので、盤面を確認する場合はしっかりと目を凝らして確認していただきますようお願いいたします。

なんらかの不審動作 見逃さない訓練を 普段の接客から学んで

糸付き玉ゴトで防犯カメラの録画映像の確認をする際には、糸付き玉をポケット等から取り出した際に糸の絡みをほぐす挙動や所定の位置に玉をセットする際に糸を

糸付き玉 2種類の糸付き玉



透明な玉を加工

通常の玉を加工

操作する挙動がパントマイムのように見えます。

このようにゴト師の挙動は普通のお客様を装っていないながらも、どこか不自然な挙動があるのです。そのちょっとした不自然に気がつく感性は、毎日のお客様との接客の中で養われてくるものです。お客様をもっと見て、もっとお客様を知りましょう。

接客のレベルが高いスタッフは、不審者（ゴト）発見力も高いのです。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期会が座右の銘。